

東海

2021年度 第2号

 東海大学山形高等学校 学校報

発行日 2021年7月5日

発行 東海大学山形高等学校 広報委員会

〒990-2339 山形市成沢西 3-4-5

TEL (023) 688-3022

FAX (023) 688-3023

ホームページURL <http://www.ymgt-tokai.ed.jp/>



オープン
スクール
開催!

1day セミナー
8/1(日)

部活動体験
8/8(日)・9(月)・10(火)

サッカー部顧問（五十嵐直史先生）のコメント

全試合を通じて 1 点差のゲームが続き、決勝では延長戦となりました。このように、今大会では接戦を粘り強く戦い抜いてきたことで、勝利につなげることができたのではないのでしょうか。怪我の影響で試合に出場できなかった選手もいる中、代わりに出場したメンバーも勝利に貢献してくれました。全員で勝ち取ったという経験が、チーム全体の成長に繋がったと考えています。

この勢いで、全国でも全力で戦ってきます！



柔道部 インターハイ出場！

男子個人

60 kg級 佐藤 礼 (3-7 御野場中)

66 kg級 大泉 晟 (3-8 中山中)

81 kg級 藤井 孝多 (3-5 御野場中)

女子個人

78 kg級 鈴木 亜優 (2-8 陵南中)

柔道部顧問（石川哲也先生）のコメント

昨年出場が叶わなかった先輩たちから激励のメッセージをもらい、闘志溢れる試合内容となりました。特に 66 kg級の大泉は、準々決勝からの 3 試合において、格上の選手からポイントを奪ってのインターハイ出場となり、「力必達」を身をもって示してくれました。

全国は甘くありませんが、一戦必勝の心構えで頑張ってきます。



陸上部 インターハイ出場！



800m 市川 慶伍 (3-5 高島中)

佐藤 伶音 (3-3 陵南中)

1500m 木村 快斗 (3-2 陵南中)

佐藤 伶音 (3-3 陵南中)

3000mSC 草刈 成海 (3-7 上山北中)

5000mW 新井 佑生 (3-9 山辺中)

陸上部副顧問（田宮健先生）のコメント

2017 年の山形インターハイ（7 名）以来、2 番目に多い 5 名の出場者となりました。レベルの高い東北地区大会でも、山形の中、長距離の選手がしっかりと 6 位入賞し、戦うことができました。

福井インターハイでは、ベストタイムを更新し、入賞できるよう努力し、秋の駅伝に繋げていければと思っています。

県高校総体

ソフトボール部 準優勝！

決 勝 (東海) 2-3 (鶴岡東)

準決 勝 (東海) 7-0 (山形西)

準々決 勝 (東海) 2-1 (米沢中央)



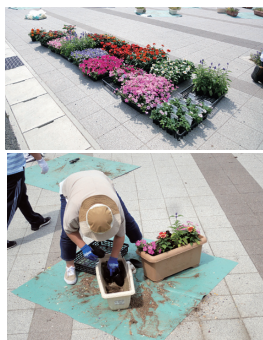
PTA環境部で学校の花壇整備

初夏の暑い日差しの中、『第1回環境整備』が実施されました。14名の保護者の方が参加してくださり、計30数個のプランターに花の植え替えを行いました。この日は6月にしては気温が高く、真夏のような暑さの中での活動でした。参加された皆様、本当にお疲れ様でした。

コロナ禍の中、つつい心にゆとりと潤いが失われる昨今です。楽しみながら美しい花に接することができた今回の活動は、会員の皆様にとっても本当に良い時間だったと思います。この花々を見て生徒の皆さんも心の潤いになれば有難いです。

ご指導して下さった「花のひこうき」の戎野社長さん、準備していただいた先生方に感謝申し上げます。

PTA 環境部長 佐藤将



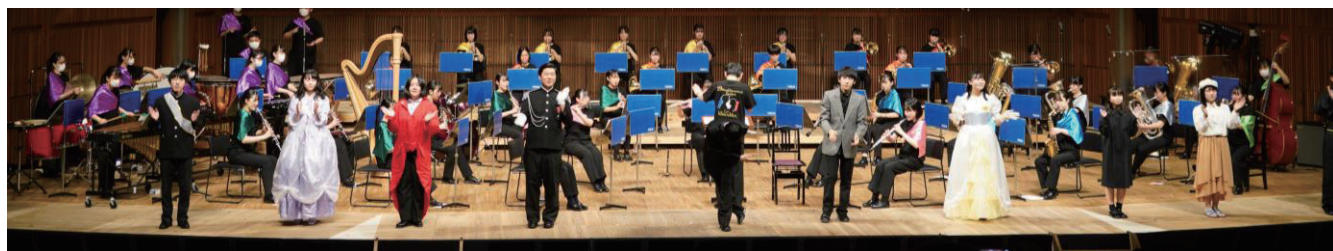
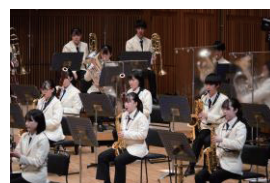
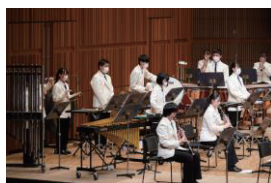
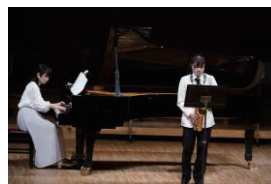
吹奏楽部 第29回 定期演奏会 2021年6月13日(日)

部長の湯口佳彩です。今年2月に、自衛隊の皆さんと演奏会を行い、演奏面だけでなく行動面についても学ばせていただきました。また新体制になって、5月の「スペシャルコンサート in 米沢」にも参加させていただき、様々な改善点に気付くことができました。

最近は感染対策がより厳しくなり、外部での練習や日頃の活動に大きく影響が出ました。今回の演奏会もそのひとつです。3年生にとっては最後の定期演奏会でもありました。しかし、5月末に感染対策の強化を指示され、演奏会が危うくなったこともありました。「成功させたくても、このコロナ禍でできるのだろうか。」「演奏や劇などの準備が、本番までに間に合うのだろうか。」焦りと不安に押し潰されそうでした。

それでも、「この中で最大限のことをやろう!」と動いてくださった顧問、講師の先生方、支えて下さった保護者の皆様、山形テルサホールの関係者の方々のおかげで、私たちはステージに立つことができました。開演できたという今回の経験は、私達にとって本当に嬉しくて幸せなことです。部員一同心より感謝しております。

これからも、私達は吹奏楽コンクールに向けて練習を行います。先輩方を超え、さらに上の大会に行くため、部員全員で練習に取り組んでいきます。応援よろしくお願い致します。



～社会で活躍する先輩にインタビュー～

2004 年度卒 鈴木俊さん

東北文化学園大学 福祉学科 卒業

山形県は、啓翁桜の出荷量が日本一だそうです。そして、その美しさを競う品評会も開催されています。令和 2 年度山形県「啓翁桜」品評会では、本校の卒業生でもある鈴木俊さんが「金賞第一席・山形県知事賞」を受賞しました。

本校にも見事な啓翁桜を毎年届けてくださっており、生徒・教職員はもちろん、本校を訪れる多くの方々の目を楽しませてくれます。今回は、鈴木俊さんの啓翁桜に対する様々な思いをお聞きしました。

Q.農業に携わったきっかけは何ですか？

もとは、大学での学びを活かし、介護福祉士としての職に就いていました。しかし、東日本大震災を機に山形へ帰郷し、それから徐々に農業に携わるようになっていきました。

Q.どのような方法で農業を学びましたか？

父から学びました。父は、高校を卒業したのち就農し、ブドウから始まり、米、さくらんぼの栽培にも携わってきました。さらに、桜の栽培にも力を入れてきました。

その作業を手伝いながら、少しずつ農業のノウハウを学んでいきました。

Q.啓翁桜をどう作り上げているのですか？

桜は冬仕事と言われています。そのため、10 月末～11 月に枝を収穫することから始まります。それから低温（8℃以下）に当て、桜を休眠させます。500 時間以上休眠させるために、蔵王高原の坊平を借りています。

その後、年内（12 月）に出荷するため、様々なサイズごとに切り分け、1 時間ほど湯に漬け、桜を起こします。その際、薬に漬けることで満遍なく咲かせることができます。

ビニルハウスで開花を促しますが、温度を高くしすぎると白っぽい花になってしまいます。そのため、夜は 10℃、昼は高めに調整し、2～3 週間かけて蕾を膨らませます。

それから、ようやく出荷し、関東や関西方面に届けられていきます。

Q.品評会へは、どのような桜を出品しますか？

10 本を一束にします。その花色、花芽の量、枝の太さ（1 円玉ほど）、その他のバランスを考えて出品します。



【左：受賞された後の上市市役所での様子】

【右：鈴木俊さんが本校へ届けてくださった啓翁桜】

Q.啓翁桜の品評会に向け育て始めたきっかけは何ですか？

最初は自分なりに育てていました。しかし、市場で買われるのは「山口さん」の育てた啓翁桜ばかりでした。「そんなに凄いのか」という印象から、その桜が次第に自分にとっての目標になっていきました。

品評会に出品した当初は、その難しさを痛感しました。

それから山口さんに師事し、自分には無かった様々なコツを教えていただきました。今は、花き生産組合の役員として携わり、周囲の先輩方にもアドバイスをいただきながら啓翁桜の栽培を手掛けています。

Q.これからの目標を聞かせてください。

山口さんに少しずつ追いつけてきたこと、そして、ライバル視してもらえるようになってきたことを嬉しく感じています。

山形には、紅花や啓翁桜といった山形発祥のものが数多くあります。多くの人に評価されるような桜を作れるようになったことを嬉しく思うと共に、より素晴らしいものに作り上げるため、山口さんを始めとして、多くの生産者と技術を高め合い、山形県全体を全国から高く評価される場所にしていきたいです。

この啓翁桜の話をお聞きしていく中で、鈴木俊さんが生き活きと、楽しそうに、そして一生懸命に語ってくださった姿が印象的でした。今後の更なる活躍を期待しています！

編集
後記

様々な制約はありましたが、地区総体、県総体、東北大会を終えることができました。その過程に、多くの方々の助力があったことは言うまでもありません。社会の混乱が続く中で、限られた範囲ではあっても生徒たちが活動できているのは、多くの関係者、卒業生の方々のおかげだということを、今回の取材を通して痛感しました。